

定例公安委員会開催概要

1 開催日

令和7(2025)年1月15日

2 開催内容

次の議題について、警察本部から説明・報告がなされ、決裁等が行われた。

■全体会議

【公安委員会から】

冒頭、委員から、

「40代の巡査部長が多額借財や虚偽の理由で休暇を取得して処分を受け、辞職したとの報道があったが、本当に残念に思う。昨今、世間では、「ルールベース」と「プリンシプルベース」の2種類が存在すると言われている。「ルールベース」は、細則など、こうしてはならないという細かい規則をいい、「プリンシプルベース」は、原理原則、警察官であれば、全体の奉仕者として市民目線に立ち、市民のためになるかという大きなことを定め、あとは現場で判断をすることをいう。最近は、「プリンシプルベース」が重要視されていようであるが、今回の報道されたケースを見て、やはり「ルールベース」も重要であると感じた。公安委員会としてどのようにしたら組織が良い方向に向いていくかを常に考えていきたいと思う。県警察としても、自らの行動が全体の奉仕者にふさわしいかどうかを自分で判断できるような人材を育てていただきたい。

この度、県の警察学校が県議会総務委員会調査を受け、その中で人材育成に関してのさまざまな質問をいただいたようであるが、委員の皆様が関心を持っていただき、質問をいただけることは大変ありがたいと感じる。また、同時に各委員の皆様がここまで考えていただいているのであれば、我々公安委員はもっと考えなければいけないし、もっと勉強しなければならないと感じた。

先日、インターネットを見ていたところ、「性格は顔に出る。生活は体型に出る。本音は仕草に出る。美意識は爪に出る、ストレスは顔に出る、落ち着きのなさは足に出る。」などという格言の中に「人間性は弱者への態度に出る。」という格言があった。何らかの失敗を責めるだけでなく、失敗に対しフォローやリカバリーをできるかが大事であり、そこに人間性が表れるのだと思う。」

旨の発言があった。

【警務部議題】

○ 県議会総務委員会調査の実施状況について

警察本部から、「先月12月24日に行われた県議会総務委員会調査の実施状況について報告する。

令和6年12月24日(火)午後1時30分から午後3時までの間、岩手県警察学校において、警察本部を所管する常任委員会である総務委員会による現地調査が行われた。出席委員等

は、千葉秀幸（ちばひでゆき）委員長以下総務委員10名に、盛岡選出議員のうち、今回視察を希望された3名の議員を加えた、合計13名が出席された。調査内容についてであるが、まず、机上調査が校舎4階の講堂で行われ、冒頭、委員長から挨拶と委員等紹介に引き続き、警察側から挨拶と職員の紹介を行った。調査事項の説明は、「岩手県警察学校における若手警察職員の育成について」であり、警察学校長が、警察学校施設の概要、採用時教養の概要、初任科生の入校状況、初任教養の推進状況、岩手県警察学校の校訓について説明した。質疑・意見交換では、城内愛彦（じょうないよしひこ）委員から「近年の採用状況について」や「入校中における辞職者の辞職理由について」など、岩渕誠（いわぶちまこと）委員から「女性職員のキャリア形成を見据えた警察学校における指導等について」、「採用試験における年齢制限拡大に伴う昇任試験受験資格の見直し等について」など、高橋はじめ（たかはしはじめ）委員から「初任科卒業者に対する継続的なフォローアップについて」、ハクセル美穂子（はくせるみほこ）委員から「教官及び指導的立場の職員に対する研修等レベルアップ対策について」、はぎの幸弘（はぎのゆきひろ）委員から「入校中における辞職者数の推移について」、「各部門の人員バランスについて」など、それぞれ質疑がなされ、説明している。続いて、講堂から場所を移動し、教場で行われている座学「無線報告要領」の授業を、次に、図書室、柔道・剣道場、食堂、学生寮、射撃場と順番に学校施設を視察された後、体育館において「点検教練」の授業を視察、最後に委員長総括をいただき、良好に調査を終了した。」旨の報告があった。

《 委員発言 》

「総務委員の皆様に関心を持ってもらったことは大変ありがたいことである。この機会にいろいろと知っていただけたことも良かったと思う。」

○ 岩手県警察警務事務支援システムの一部運用開始について

警察本部から、「岩手県警察警務事務支援システムの一部運用開始について説明する。システムの概要についてであるが、本県が直面している少子高齢化や過疎化といった治安情勢の変化に的確に対応するため、限られた人的リソースを有効に再配分するとともに、業務の集約化・合理化による効率的な業務の推進が必要となっており、その取組のひとつとして、内部管理業務の一元化及び紙ベースで運用されている業務のシステム化について令和7年10月の本格運用開始を計画している。具体的には、警務部門における内部管理業務のうち、職員毎の管理が必要な業務について、これまで複数のシステムで運用していたものを統合し、一元的なデータ管理をすることで、データ管理の省力化・適正化を図るものである。

また、現在紙ベースで運用されている休暇管理や勤務実績管理などについて、職員個々の申請から所属長等の決裁までを電子決裁化するなど、これらのデータをシステムで一括管理することにより、帳票の作成・管理に係る業務効率が向上するほか、データの蓄積と分析が容易になることから、各種統計業務においても効率化・適正化が図られ、加えて、ペーパーレス化によるコスト削減も期待できるところである。

一部運用開始する業務についてであるが、人事管理、勤務管理等といったシステムの基幹となる業務については、本年1月1日から先行して運用を開始しており、本部各所属・各警察署の「全所属」を対象としているものと、本部「業務主管課のみ」を対象としてい

るものの二つに区分している。全所属を対象としている業務で主なものは、「勤務管理業務」であり、出退勤管理、超過勤務・特殊勤務等といった実績手当管理、そして休暇・私事旅行管理といったものが主な機能となっており、職員本人が申請・実績等の入力を行い、所属長等の決裁・確認を受け、日々の勤務管理をシステム内で完結させるものとなっている。そのほか、給与支援連携管理として電子給与明細を導入し、これまで県や関係団体からそれぞれ個人毎に紙配付されていたものをシステム化することで、明細作成に係る効率化が図られるものである。

また、業務主管課のみを対象としている業務については、主に人事に関連した業務となるが、システムに必要なデータ等の環境整備を進めていくこととしており、全所属を対象とした運用開始時期については、今後調整することとしている。

次に、今後の運用開始スケジュールであるが、身上指導管理業務を本年4月から、残る業務は本格運用開始となる本年10月からとして、現在システムの構築を進めている。

職員の個人情報扱う本システムの運用に当たっては、情報セキュリティ対策を確実に行うとともに、本年の活動重点である「職員一人一人が輝ける魅力ある職場環境の実現」に資する事業であることから、システムの定着化に向けてしっかりと取り組んでいく。」旨の報告があった。

《 委員発言 》

「ペーパーレスは大いに賛成するするが、人と人の関わりやコミュニケーションが希薄にならないように運用していただきたい。」

【刑事部議題】

○ 広域技能指導官による捜査用似顔絵講習会の開催について

警察本部から、「令和7年1月22日(水) 午前10時から午後3時までの間、岩手県警察学校4階講堂において「広域技能指導官による捜査用似顔絵講習会」を開催する。講師は、警察庁指定広域技能指導官(捜査用似顔絵) 沖縄県警察本部警務部教養課警部補安里秀明(あさとひであき) 指導官であり、当県に招致するのは今回で2回目となる。現在63歳で、再任用され引き続き広域技能指導官として活動されており、前回は、新型コロナウイルス感染症が拡大する前の、平成31年2月に実施した際に来ていただいている。参加者は、各警察署の似顔絵捜査官を含む警察官88名で、本県警察では、年度ごと各警察署ごとに似顔絵捜査官を指定しており、令和6年度は県内合計で124名が指定されている。また、似顔絵捜査官の間口を広げ、後継者を育成するために、似顔絵捜査官に指定されていない若手警察官にも、積極的に作成させている。講義内容についてであるが、捜査用似顔絵は、作画能力もさることながら、目撃者等から犯人の特徴を聞き出す能力が求められ、絵を描くこと自体は、一人でも訓練可能である一方、犯人の特徴を聞き取る能力の向上には、対面での訓練が必要となるため、(1)捜査用似顔絵作成の基本、(2)捜査用似顔絵の活用要領、(3)捜査用似顔絵作成事例と応用、(4)捜査用似顔絵作成実習とし、広域技能指導官の高度な技術と、豊富な経験から得られた貴重な知識を講義していただいたうえで、似顔絵作成の実習を通して技術を学ぶこととしている。」旨の報告があった。

【警察学校】

○ 初任科第99期長期課程の卒業式について

警察本部から、「令和7年1月30日（木）午前10時から岩手県警察学校体育館において、初任科第99期長期課程の卒業式を執り行う。卒業生は、初任科第99期長期課程の41名の予定となっている。卒業後は、各警察署に配置され、今後約4か月間の職場実習を経て、今年の5月下旬に、初任補修科生（第47期）として、再度入校する予定である。長期課程学生は、大学卒業者以外の者であり、令和6年4月1日から令和7年1月30日（305日間）の約10か月にわたり、憲法などの座学や、柔道、剣道、逮捕術などの術科訓練、各警察署での制服実務研修などを通じて、職務執行に必要な知識や技能を習得した。卒業式の出席者についてであるが、来賓については、昨年9月に実施した初任科第99期短期課程卒業式と同規模程度で出席をお願いしている。また、卒業生家族の参列については、短期課程の卒業式同様、卒業生の家族、親族に限定した上で人数制限は設けない予定である。しかしながら、新型コロナウイルスやインフルエンザの感染状況によっては、人数制限を設けるなどの対応が必要となることも想定されるところであり、式典に変更があった場合は、ご報告する。」旨の報告があった。

■個別会議

○ 運転免許課

指定自動車教習所に対する行政処分（監督命令）についての説明、決裁
マイナ免許証運用開始に向けた取組状況についての説明
免許取消等処分関係に係る意見の聴取結果等の説明、決裁

○ 総務課

公安委員会あて苦情の受理についての説明、決裁

○ 監察課

奥州署留置施設内における特別公務員暴行陵虐事件に係る損害賠償請求訴訟への対応についての報告